

“人間と性”

一般社団法人“人間と性”教育研究協議会
〈性教協〉会報 No. 388 2024.1.25



発行：“人間と性”教育研究協議会 / 発行責任者：北山ひと美
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-16 初台/ハイツ1006号
<https://www.seikyokyo.org> Tel 03 (3379) 7556

視点

身銭で「学習する」を続けて

性教協と出会ってもう30数年が経過した。夏期セミナー、ヨーロッパへの研修&観光、中国への研修&観光、韓国への研修&観光、ずーっと「学びと観光」をセットにしてきた。

また、「理論と実践講座」や基礎講座などでもいろんな場所へ足を運んで学ばせてもらった。いろんなところへ行った記憶が残っている。常に「学びと観光」をセットにしてきた。自ら進んでやってきたことなので悔いはないし、今も自分がこうして学び続けているのも「面白い・楽しい」があるからだと思っている。「性を学ぶ」ことをやめないのもまだ吸収することがあるからだと思う。自分づくりの学びは、身銭を切って研修に行き、そのついでに遊んでくるパターンがしみついている。

大きいイベントではなく、興味を持った研修会には今でも参加している。性教協だけでなく、組合養護教員部の夏学習とか、「全養サ」（全国養護教諭サークル協議会）の研修会にも数多く参加した。行く先々で懐かしい友と会うことをセットしたり、日ごろ会わない親戚を訪ねたりと、私は貪欲に「学びと観光」をセットにしてきた。お金を払って休日を利用して学ぶことは厭わなかった。最近では、「学び」の部分が頭に残らないことも多く、参加することで満足してしまっている自分もいる。年齢とともに学びが残っていかない寂しさも感じている。せっかく参加したのに何やっているんだろうと。（笑）

岐阜性教協の研究例会は隔月で開催しているが、休日の研修会になかなか人が集まらないことも多い。休日は「休み」とはっきり言われるし、「休日までお金を払って学ぶつもりはないわ、あなたよくやっているわ」と言

われることもある。ニーズがないのかな？私自身養護教諭時代官製の研修会にも参加していたが、断然身銭を切った学びの方がためになったし、実践に役立ったと思っている。人それぞれの考え方があるから無理強いはできないが、「身銭を切って学ぶ」ことへの誘い方はどうあったらよいのかと考えてしまう。「いい研修会なのになあ」なんて思っても余計なお世話なのかもしれないが、それでも参加者は多い方がいいのに決まっている。全国の性教協サークルはどんな人集めの仕方をされているかノウハウが聞きたいし、人集めの極意はあるのか、あったら伝授して欲しいと思っている。サークル研修会の参加者集めの明るい展望を描いていきたいと思っている。

この原稿は「視点」だから、愚痴の文章になっていてはいけない。明るい展望の一つに2024年「夏期セミナー東海大会in静岡」開催がある。もちろん「身銭を切ったの学び」だ。今から新しいスケジュール表に「8月3、4日夏期セミナー参加」と記入、または、スマホの予定表に入力して欲しい。海が見える「清水テルサ」で現地実行委員は着々と準備を進め、皆さんのお越しをお待ちしている。私は現地実行委員長として余裕はないかもしれないが、やっぱり夏期セミナーは「性の学びと観光」のセットで行くぞー！



塚原百合香
（岐阜性教協・東海ブロック幹事）